小学校
5 年

# This is my hero.

東大阪市立若江小学校

| 教科 | 外国語 | 単元名 | あこがれの人を紹介しよう |
|---|---|---|---|

**本単元で育む主な情報活用能力**

F－STEP３，B－STEP３
F－STEP２，D-STEP２

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。

## 単元でつけたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつけたい力）
・あこがれの人の名前、その人の性格や特徴、できること、得意なことなどを伝える語句や表現の意味を理解し、それらを使ってあこがれの人を紹介する。
（学校図書館等の活用でつけたい力）
・ビブリオバトル等を通じて、本の面白さや魅力を知る。
・情報を適切に収集・検証できる。
・図書資料から必要な知識や情報を得る。
・自分の考えや意見をスライドなどで相手を意識して表現する。

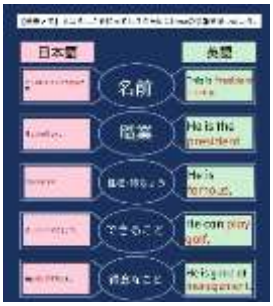
## 単元における学習の展開（全 21 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

| | |
|---|---|
| 第１次<br>（13 時間） | **〇Unit2 の表現方法を学習する。**<br>・友だちや家族を紹介する語句や表現を学習する。（①～⑤）<br>・自分ができることを伝える語句や表現を学習する。（⑥～⑨）<br>・さまざまな人のできることや得意なことを伝える語句や表現を学習する。（⑩～⑬） |
| 第２次<br>（3 時間） | **〇紹介する有名人を決めて、発表メモの作り方を学習する。**（☆）<br>・紹介したい有名人の図書資料（伝記や自伝など）を読み、日本語で紹介メモを作る。（①②）<br>・自分の紹介する有名人の尊敬するところを紹介メモから探す。（③） |
| 第３次<br>（5 時間） | **〇尊敬する有名人を紹介する。**<br>・日本語の紹介メモをもとに、英語で発表メモを作成する。（①～③）（☆）（本時）<br>・有名人を紹介するパワーポイントを作成する。（④）<br>・パワーポイントを用いて発表を行う。（⑤） |

## 本時のねらい

・図書資料から有名人の情報を探し、既習表現を用いて英語の発表メモを作成することができる。

## 本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | 学校図書館活用のポイント及び指導上の留意点 |
|---|---|---|
| 導入<br>（５分） | **１．前時の復習をする。**<br>**２．本時のめあてを確認する。**<br>・本時で学習する表現方法を復習する。 | ・復習の時間には、図書資料をもって班以外の人と交流する。 |
| 展開<br>（３５分） | **３．発表メモを作成する。**<br>・紹介メモや本を見て情報を探し、整理する。<br><br>【発表メモ】<br>①　名前<br>②　職業<br>③　性格・特徴<br>④　できること<br>⑤　得意なこと<br>⑥　その他（任意）<br><br>  <br><br><br>（本時では④の「できること」、⑤の「得意なこと」の情報を探す。）<br>・英語で表現するためにはどのような言葉にすればいいか考える。<br>・発音の練習をする。 | ・和英辞典は言葉だけでなくイラストが入っているものを選ぶ。<br><br>・文法事項は既習のものを使うが、名詞や動詞などについては、既習のものだけでなく、和英辞典で調べる、ALT に質問する、Google 翻訳で調べても良いこととする。<br>・発音の練習を終えた児童には、スライドを作成するよう声かけをする。<br>・画像を使う場合には引用元の URL を控えるよう声掛けをする。Web サイトの引用方法は URL のほかにサイト名やアクセス日が必要なことを事前に伝える。 |
| まとめ<br>（5 分） | **４．ふりかえり**<br>・班で作成したメモを共有する。 | |

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・ロイロノートのシンキングツール（キャンディーチャート）を用いて、抜き出した情報を整理した。
・日本語から英語に変換する際には、教科書→和英辞典→ALT に質問→インターネットと段階を経て調べるように指示することで、発表する児童も聞く児童も理解しやすい英文になった。
・英語の読み方が分からない単語は、Google 翻訳の音声機能を使用して発音練習をした。

前時で学習した英語表現を班以外の人に本を見せながら紹介している様子。